

月刊 やちまなこ

2011.11.15 発行

No. 168

11 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



暖冬といわれた釧路湿原に雪が降った。
キタヨシの広がる先に見える山並みも雪化粧となり、山肌を鉛色の雲が流れてゆく。
キタヨシは大きく波状に揺れるたび、穂先に積もった雪粒を辺りに撒き散らす。すすり泣くような音を立てるヤチハンノキの枯れ葉を見守るように、群青色の空には灰白色の月が浮かんでいた。



コッタロ川と湿原のほとりから

137 11月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住. 中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

立冬を過ぎ夜明けが一段と遅くなりました。

葉衣を脱ぎ捨ててすっきりした姿の山々から凧のグロソさえ聞こえてきそうな冬景色とは裏腹に、不気味な暖かさで季節は逆戻り。近くの雌阿寒岳の初冠雪が実に89年ぶりに更新される「遅さ」とか。因みに10月10日を目安にしており、最早ひと月越え、さらに更新されそうな勢いです。

このように暖冬の気配いよいよ濃厚のコッタロで今年は10月1日から前倒しで解禁されたエゾ鹿もひと月過ぎた今、すっかり学習してしまった彼等は、ハンター等をあざわらうかの如く、人家の周りに群れ遊び、夜は軒下で眠る個体がいるかと思えば、流石年季の入った貫禄充分のみ同士は、少し離れた庭先で大きな枝角をぶっつけ合う“カッツ、カッツ”の音で人の安眠を妨げております。又、そちこちから響いてくるドスの効いた雄叫びで“長き夜の所々を眠りける—今井きょう太郎”状況はしばらくの間続くことでしょう。

一方、饒舌を弄する百舌と云えども今や物真似どころではなく食糧探しに余念がありません。じっと見すえた先にいる獲物を捕らえるタイミングを狙っているその真剣なまなざしが、日頃のモズ吉君らしからぬ愛くるしさについパチリ。

又、17年目にして初のナガゴマフカミキリ(成虫)の複雑かつシックな絵柄のジャケットに魅せられて記念の一枚を撮らせて頂きました。クリクリ目玉を見開いての人間ウォッチングは非常に珍しく、虫ばまれて倒れた柳の大木の根方をノソリ十兵衛よろしく歩いており、『この木をかじったのは私です』と白状しているようでした。

ところで、この秋大発生したスズメ蜂の大小様々な巣が方々にあって草刈りもままならず、完全に空になった10月20日を待っての冬支度と相成り、これも気候変動の一つの予兆かも知れませんね。こわれずに残った手まり大と、サッカーボール大のを写しました。

おわりに、満月が昇り始めた夕暮れ時、岬へ飛び立つ丹頂一家が秋嶺の闇に吸い込まれる寸前の美をごらん下さい。



湿原の住人たち その128

ヒヨドリ（鶉）

市街地でも普通に見られる身近な鳥のひとつ「ヒヨドリ」は、実りの秋から春先にかけて目にする機会が多くなります。木の実や花の蜜が好きな甘党で、食糧が乏しくなる冬の間は、餌台にやってくるとほかの鳥を寄せ付けぬやんちゃさと旺盛な食欲を見せてくれます。体長約27.5cm、尾が長く、羽の色が全体的に灰色で頬が茶色のちょっと地味な色合いの鳥ですが、ピーヨピーヨと甲高い声でアピールしますし、平泳ぎをしているように羽を広げたり閉じたりしながらの波状飛行をみれば、すぐにヒヨドリだとわかります。じっくりヒヨドリが観察できる季節になりました。



バードカービング講座が始まりました。

自然ふれあい行事「バードカービング講座」が今年も10月から開催されました。今回は釧路湿原の川や湖沼などに生息する「カワセミ」をモデルに、釧路湿原ボランティアレンジャー会員の沢田正雄さんを講師に来年2月まで行います。



はじめに角材に図面を当て転写し、糸鋸で輪郭を切り抜いたあと切出しナイフを使い、

頭や胴体、尾等の部分を削り出す作業となりました。その際にナイフの使い方や、常にバランスを注意して削ることなどのアドバイスを受け作業を進めました。

ヤフーのホームページで釧路湿原でバードカービングを検索すると、講座の様子が見られます。



つぼっちの塘路周辺うろうろ日記

Vol.59 「思わぬ誤算？」

塘路湖エコミュージアムセンターの近くにある塘路湖南岸の遺跡で、発掘調査をしています。この遺跡は湖の湖岸際にあるので、ガンカモ類やカモメなどは良く見かけますが、先日掘り上げた土の山の中から、トガリネズミが飛び出してきました。北海道でよくモグラと言われるのはこのトガリネズミで、ネズミよりはモグラやハリネズミに近い生き物です。明るい地上にとまどったのか、トガリネズミはミズナラの葉に隠れながらちょこちょここと動き回り、また土の中に戻って行きました。

普段横穴を掘っている時に外へ出る事はないのでしょうが、掘り上げた土の山だったせいかわ、思わぬ誤算だったのかもしれません。

坪岡 始（標茶町郷土館学芸員）



